

高齢社会と介護保険に関する調査（介護支援専門員アンケート）

※回答所要時間は20～30分です。一時保存ができませんので、ご注意ください。

※確認ボタン押下後、入力漏れがあれば赤字で表示されます。

高齢社会と介護保険に関する調査（介護支援専門員アンケート）の枠組みです。

	選択		質問内容	回答内容
問1	入力必須	自由記載	勤務先の事業所番号を教えてください	()
問2	入力必須	記載	勤務先（事業所名）を教えてください	
問3	入力必須	1つ選択	令和8年1月1日現在のあなたの年齢を教えてください	20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳以上
問4	入力必須	1つ選択	介護支援専門員としての経験年数を教えてください	1年未満 1年以上3年未満 3年以上5年未満 5年以上10年未満 10年以上
問5	入力必須	数字入力	あなたの働き方は、常勤換算で何人ですか	※数字のみを入力（例 0.8）
問6	入力必須	数字入力	あなたが担当している利用者は何人ですか ※担当人数には、入院等によりサービスの利用がない人も含む	※数字のみを入力
問7	入力必須	1つ選択	加古川市は要支援1、2、事業対象者の方に対して、自立の3本柱（重度化防止・本人の強み・自己決定）に着目した自立支援に取り組んでいますが、高齢者が「元の生活に戻れる視点」を新たに加えて取り組んでいることを知っていますか	知っている 知らない
			*「元の生活に戻る視点」とは・・・自立の3本柱の1つ重度化防止に、要支援者など比較的軽度者に対し「元の生活に戻る視点」を加えた支援を行うことにより、利用者の最大限できる力を引き出し、その人らしい生活ができる自立へ促し自分でできることを増やししながら自宅で元気に暮らせるように支援します。	
問8	入力必須	1つ選択	あなたは、現在「元の生活に戻る視点」を取り入れた支援を行えていますか	行えている ⇒問10へ 行えていない ⇒問9へ
問9	入力必須	1つ選択 自由記載	*問8で「行えていない」と回答された方にお尋ねします その理由を教えてください	・本人・家族の理解が得られない ・サービス事業所の理解が得られない ・支援方法がわからない ・このような視点を知らなかった その他（ ）
問10	入力必須	1つ選択	「元の生活に戻る視点」を取り入れた自立支援に関する研修があれば参加しますか	参加する ⇒問12へ 参加しない ⇒問11へ
問11	入力必須	1つ選択 自由記載	*問10で「参加しない」と回答された方におたずねします その理由を教えてください	・業務が多忙で時間が取れない ・自分の業務に関係ないと感じる ・十分に理解している その他（ ）
問12	入力必須	1つ選択	介護保険サービス以外に最もあれば良いと思うサービスは何ですか	ゴミ出し 安価な移動支援サービス 買い物支援 通院の付き添い 緊急時に受け入れ可能な施設 認知症の人の見守り支援 特にない
		自由記載		その他（ ）

問13	入力必須	複数選択	介護保険サービス以外のサービスで紹介したことがあるものは何ですか	配食 買い物支援 移動支援サービス 調理 掃除片付け 見守りサービス 傾聴ボランティア 庭の手入れ 訪問マッサージ 金銭管理を支援するサービス 紹介したことがない
		自由記載		その他（ ）
問14	入力必須	複数選択	介護保険サービス以外の情報をどのように得ていますか	市が発行している冊子など 地域包括支援センター主催の研修など 市や地域包括支援センターに相談 インターネット 介護支援専門員間の口コミ 特に得ていない
		自由記載		その他（ ）
問15	入力必須	1つ選択	現在、地域資源サイト「かこサーチ」の配信に向け整備を進めています。これが整備された場合、支援に活用しますか	活用してみたい わからない 活用しない
			*「地域資源サイト（かこサーチ）」とは…市内の地域資源情報(生活支援や助け合いサービス、趣味活動、通いの場等)を一元化し、支援関係者間で共有できるサイトです。情報には、各資源の名称、住所、連絡先、サービス内容、活動・開催日時、対象者、料金等を確認したり、場所を地図上で確認することができます。	
問16	入力必須	1つ選択	利用者が入院した際、情報提供書を病院に送付していますか。	全件送付している ⇒問18へ 概ね（約8割）送付している ⇒問17へ 半分程度送付している ⇒問17へ 約3割送付している ⇒問17へ 送付していない ⇒問17へ
問17	入力必須	複数選択	*全件送付していると回答した人以外におたずねします 送付していない理由は何ですか。	本人家族から入院の連絡がなかった（遅かった） 送付する必要性を感じなかった 情報提供書を作成するのに手間がかかるため 他の業務が優先されてしまうため
		自由記載		その他（ ）
問18	入力必須	1つ選択	情報提供書は入院から2日以内（入院の翌々日まで）に送付していますか。	全件送付している 概ね（約8割）送付している。 半分程度送付している 約3割送付している ほとんど送付できていない。
問19	入力必須	複数選択	退院支援や調整をする中でどのようなことに困りましたか	退院調整のカンファレンスが開かれなかった 病院からの説明が十分でなかった 知りたいことが十分に聞けなかった 急に退院が決まり、在宅の受け入れ準備を十分にできなかった 本人、家族への説明が十分にされていなかった 病院職員が、あまり介護保険サービスのことを理解していない
		自由記載		その他（ ）
問20	入力必須	1つ選択	病院における退院前カンファレンスが開催される時には、参加していますか。	必ず参加している ほぼ参加している 時々参加している 参加していない
問21	入力必須	1つ選択	退院時に、病院の主治医または連携担当者（地域連携室など）と円滑な連携がとれていますか。	十分にとれている ある程度とれている あまりとれていない とれていない

問22	入力必須	1つ選択	利用者の病状や健康状態について主治医と連絡をとっていますか	とっている 時々とっている ほとんどとっていない
問23	入力必須	1つ選択	あなたが主治医との連携が必要だと思われるケースでは、実際に主治医と連携が図れていますか	全く連携が図れていない ⇒問24へ あまり連携が図れていない ⇒問24へ ある程度連携が図れている ⇒問25へ 十分に連携が図れている ⇒問25へ 主治医と連携が必要なケースは少ない ⇒問25へ
問24	入力必須	1つ選択	*問23で「全く連携が図れていない」、「あまり連携が図れていない」と回答した人のおたずねします	
			連携が図れていない主な理由は何ですか	時間に余裕がない 医療機関の協力がいない アプローチの仕方が分からない 個人情報の保護の問題 窓口が分からない
		自由記載		その他（ ）
問25	入力必須	1つ選択	利用者の服薬管理などについて薬局（薬剤師）と連携が図れていますか。	全く連携が図れていない ⇒問26へ あまり連携が図れていない ⇒問26へ ある程度連携が図れている ⇒問27へ 十分に連携が図れている ⇒問27へ 主治医と連携が必要なケースは少ない ⇒問27へ
問26	入力必須	1つ選択	*問25で「全く連携が図れていない」、「あまり連携が図れていない」と回答した人のおたずねします	
			連携が図れていない主な理由は何ですか	時間に余裕がない 薬局（薬剤師）の協力がいない アプローチの仕方が分からない 個人情報の保護の問題 薬局（薬剤師）の在宅医療への理解が低い
		自由記載		その他（ ）
問27	入力必須	複数選択	利用者の在宅生活を支えるために連携を強めたい職種・機関はどこですか	医師 歯科医師 薬剤師 地域連携室 訪問看護師 訪問介護士 リハビリテーション職 管理栄養士 地域包括支援センター 社会福祉協議会（福祉会館） 市役所
				その他（ ）
		自由記載		
問28	入力必須	1つ選択	家庭内における高齢者虐待を疑う事例を経験（担当）したことがありますか	ある ⇒問28へ ない ⇒問30へ
問29	入力必須	1つ選択	*問28で「ある」と回答された方におたずねします	
			今までに高齢者虐待を疑う事例に出会ったとき、市や地域包括支援センターへ相談（通報）しましたか	はい ⇒問30へ いいえ ⇒問29へ
問30	入力必須	複数選択	*問29で「いいえ」と回答された方におたずねします。 相談（通報）しなかった理由は何ですか	利用者や家族との関係悪化を避けたかった 家族の問題なので介入してはいけないと思った 自分で解決できと思った 市や地域包括支援センターに期待していない
		自由記載		その他（ ）

問31	入力必須	3つ選択	高齢者虐待への対応として必要な制度や仕組みはどのようなものだと思いますか	相談窓口の設置明確化 関係機関のネットワーク強化 対応マニュアルの作成 介護者への援助の充実 住民への啓発 関係機関や職員への研修 緊急一時保護施設の確保 日常生活自立支援事業 成年後見制度への積極的な取り組み 警察司法との連携介入 家族介護者を対象とした介護相談の充実
		自由記載		その他（ ）
問32	入力必須	複数選択	認知症高齢者の支援において、困っていること（困ったこと）はありますか	サービス利用などの契約手続きができない サービスの受入れ先が限られる サービスの利用拒否、受診拒否 本人の暴言や暴力がある 金銭管理（認知症による物盗られ妄想や消費者被害、支援者がいないなど） 徘徊や緊急時の対応が困難 家族の理解がない、理解が薄い 地域の理解がない、理解が薄い
		自由記載		その他（ ）
問33	入力必須	複数選択	認知症高齢者への支援に必要なことはどのようなことだと思いますか	医療的な支援（認知症の進行に合わせた適切な指導、助言） 認知症の人家族の声や意志が尊重される相談体制 認知症の人の社会参加の場づくり 介護している家族のための介護教室や家族サロンの開催 認知症の正しい知識を持った支援者の養成 認知症の正しい知識を普及するための啓発活動 介護保険などの公的サービスの充実 ボランティアなどの公的サービス以外の充実 成年後見制度の利用促進 市民後見人の育成 認知症全般について相談できる窓口 地域住民の理解
		自由記載		その他（ ）
問34	入力必須	3つ選択	今後、認知症施策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきことだと思いますか	認知症への市民理解の増進 認知症予防やMCI（軽度認知障害）の普及啓発 認知症の人家族の声を起点とした支援 認知症の人の社会参加の機会の確保 介護者のつとめの充実 相談会の充実 認知症の人の介護、方法など介護者向けの研修会の開催 医療介護地域が連携した早期発見早期治療のしくみづくり かかりつけ医に対する研修 認知症の人を見守るボランティアなどのしくみづくり 認知症対応型グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備 若年性認知症に対する支援
		自由記載		その他（ ）
問35	入力必須	1つ選択	加古川市では、認知症の人や家族を支援するために、市内の地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置していますが、知っていますか	知っている 知らなかった
問36	入力必須	1つ選択	成年後見制度の相談ができる成年後見支援センターが市内にあることを知っていますか	名前や業務内容を知っている 名前は知っているが、業務内容は知らない 名前を聞いたことがない
問37	入力必須		あなたの担当している利用者の制度等の利用状況を教えてください（あてはまる利用者の人数を回答してください）	※数字のみを入力（該当がなければ「0」と入力）
			・日常生活自立支援事業を利用している	
			・成年後見制度を利用している	

		数字入力	・日常生活自立支援事業、成年後見制度を両方利用している	
			・日常生活自立支援事業、成年後見制度のいずれも利用していない	
問38	入力必須	数字入力	あなたの担当している利用者で成年後見制度を利用したほうがいいと思う人について教えてください（あてはまる利用者の人数を回答してください）※既に成年後見制度を利用している人は除く	※数字のみを入力（該当がなければ「0」と入力）
			・利用したほうがいい ⇒問38へ	
			・利用しなくてもいい ⇒問39へ	
			・判断できない ⇒問39へ	
問39	入力必須	数字入力	*問38で「利用したほうがいいと思う」と回答された方におたずねします。理由について教えてください	※数字のみを入力。該当するものすべての人数を入力（該当がなければ「0」と入力）
			・日々の金銭管理に困っている	
			・介護保険契約、施設入所契約ができない	
			・適切な医療が行えない	
			・訴訟手続きを抱えている	
			・その他 ※具体的な理由とその人数を入力	
		自由記載		
問40	入力必須	複数選択	成年後見制度を利用すべきであるが、利用に至らない理由は何ですか	申立て手続きが煩雑で、利用までに時間がかかる 制度の利用等について本人や親族と協議ができていない 制度の利用について親族の同意を得られない 制度を利用するタイミングがわからない 申立人になる人がいない どこに相談していいかわからない 別のサービス、制度利用などにより対応できている⇒問41へ その他
		自由記載		
問41	入力必須	自由記載	*問40で「別のサービス、制度利用などにより対応できている」と回答された方におたずねします 別のサービス、制度を具体的に教えてください	
問42	入力必須	複数選択	高齢者が在宅での生活を続けるために必要なことはどのようなことだと思いますか	住み慣れた地域にあるデイサービス（通い）を利用しながら、必要に応じてなじみの職員が訪問したり短期の宿泊ができたりする多機能型の施設 住み慣れた地域にある認知症高齢者に対応したデイサービス（通い） 夜間や早朝の他、必要なときに対応してもらえるホームヘルプサービス（夜間の敵的な巡回訪問を受けることができる介護サービス） 訪問看護師との連携 身近な場所での転倒骨折予防の体操などができる場 健康や生活に関する講話や相談ができる場 家族、近隣住民などの理解、協力 介護保険サービスではないが、有償ボランティアなどによる生活支援（買い物やゴミ出しなど） 身近な場所にある相談窓口 介護者のための介護教室、交流会などの介護者の支援 段差解消や手すりの取り付けなど自宅のバリアフリー化 わからない
		自由記載		その他（ ）
問43	入力必須	1つ選択	在宅での看取りに関わった経験がありますか	ある ない
問44	入力必須	1つ選択	在宅での看取りをするために連携できる医師がいますか	いる いない わからない
			あなたは、アドバンス・ケア・プランニング（ＡＣＰ、人生会議）について知っていますか	よく知っている 聞いたことはあるがよく知らない 知らない

問45	入力必須	1つ選択	*アドバンス・ケア・プランニング（ＡＣＰ、人生会議）・・・ 人生の最終段階の医療・療養について、あなたの意思に沿った医療・療養を受けるためには、ご家族等や医療介護関係者等とあらかじめ話し合い、また、繰り返し話し合う「アドバンス・ケア・プランニング（ＡＣＰ、人生会議）」が重要と言われて	
問46	入力必須	1つ選択	ＡＣＰを利用者に対して実施したことがありますか	ある ない
問47	入力必須	複数選択	もし、家族や医療介護家族関係者等の方と医療・療養について話し合うきっかけがあるとすれば、どのような出来事だと思いますか。（話し合ったことがある人は、何がきっかけでしたか）	誕生日 結婚 自身または配偶者の妊娠や出産 自分の病気 退職 還暦 家族等の病気や死 人生の最終段階についてメディア（新聞テレビラジオ）から情報を得たとき 地域包括支援センターや医療関係者、介護サービス事業者による説明や相談の機会を得たとき
		自由記載		その他（ ）
問48	入力必須	1つ選択	ケアプランニングの中でＡＣＰを実践できますか	できる できない（難しい）
問49	入力必須	複数選択	*問48で「できない（難しい）」と回答した人のみにおたずねします	
			ＡＣＰが実践できないと思う理由は何ですか	医師との連携が難しい 本人の納得が得られない 家族等の理解が得られない
		自由記載		その他（ ）
問50	入力必須	1つ選択	あなたは、市役所の高齢者支援課で在宅医療・介護連携について相談できることを知っていますか	はい ⇒問49へ いいえ ⇒問48へ
問51	入力必須	3つ選択	あなたは「在宅医療・介護連携推進事業」として、どのようなことに力を入れる必要があると思いますか。	専門職による相談支援 地域の医療や介護の資源に関する情報提供 在宅医療と介護の関係者間の情報共有 在宅医療及び介護関係者への研修 市民に対する在宅医療や介護に関する情報の周知啓発 在宅医（往診医）を増やす 訪問看護師を増やす 訪問介護士を増やす その他（ ）